

LA インター

5、日米の長所を取り入れたカリキュラム

「LA インター」は、日本とアメリカの教育の長所を積極的に取り入れた、独自のカリキュラムを採用しています。

カリフォルニア州の私立学校は、日本の高校と比べて指導カリキュラムを自由に組めます。その利点を生かして、LA インターでは、日本の高校の学習内容とカリフォルニア州の学校の学習内容の両方から、私達の学校の理念に合う内容や授業科目を選び出し、カリキュラムを作成して、指導しています。

そのカリキュラムに従った課程を修了すると、アメリカの現地の高校としての卒業資格を取得できます。その卒業資格と独自のカリキュラムの考え方は、アメリカと日本の大学に高く評価されて、小規模な学校ながら日米の有名大学に卒業生が進学しています。



6、日米の大学へ進学

「LA インター」の卒業生は、アメリカの大学はもちろんのこと、日本の大学へも帰国子女大学入試を受験して進学することができます。

「LA インター」があるカリフォルニア州には、カリフォルニア大学システム (University California System, UC) があり、州内の高校卒業生の TOP15%しか進学できない競争の厳しい 10 大学で構成されています。この UC に出願するためには、事前に UC に認められたレベルの高いクラス (UC Apporoved) を高校で受講していなければなりません。「LA インター」は小さな学校ですが、そのクラスはほとんど UC に認定されており、これまでの多くの卒業生が UC に入学を許可され、進学しています。

また、「LA インター」は「アメリカの現地校」と認定されているため、日本の約 400 の大学の帰国子女入試を受験して、進学することができます。帰国子女大学入試は、日本の高校教育では受けられない貴重な教育や海外体験を持つ、海外の現地校で学んだ高校卒業生のための特別試験で、小論文や面接が中心の国内入試とは異なったものです。

7、ロサンゼルス郊外にある学校

「LA インター」は、アメリカ合衆国カリフォルニア州のロサンゼルス郊外のトーランス市にあります。ロサンゼルス国際空港から車で 30 分ほどのこの町は、温かな気候と豊かな自然環境に恵まれ、治安も良いので、日系企業の駐在員・長期滞在者・学生などの日本人が多く住んでいます。歴史的に、日本人・アジア人が多く、日本とよく似た生活ができ、日本人にとっては住みやすいところです。

8、充実した生徒寮

「LA インター」には、生徒寮が、学校から車で 20 分くらいの所にあります。いつでも入寮できます。

寮は、ホテルの一部を使用しており、二人一部屋で使います。朝夕の食事、寮と学校間の送迎などが完備しており、学習室も設けるなど、寮生が快適に学習できる環境を作っています。さらに、LA インターの先生が学習時間の指導や生徒の個人的なサポートを行っています。

寮生は、日本からの留学生や他州からの寄宿生だけではなく、広大なロサンゼルス地域在住で通学が困難な生徒も入寮しており週末には自宅へ帰っています。

9、留学ビザが取得可能

「LA インター」では、アメリカ連邦移民局の許可を得て、入学を認めた生徒に留学ビザを取得するのに必要な書類の発行をします。

生徒は、この書類と留学に必要な財政書類を、アメリカ合衆国の在外公館へ提出します。在外公館の係官が、提出書類を審査し、問題がないと認めた場合は、留学ビザ (F-1 Visa) を発行します。アメリカ合衆国へ入国する時に、このビザを提示し、留学生として滞在することができます。

「LA インターの紹介」は、次回に続きます。

ロサンゼルス・インターナショナル・スクール
Los Angeles International School
23800 Hawthorne Blvd., Torrance, CA 90505, U.S.A.
Tel (+1)310-373-0420, FAX (+1)310-373-0670
E-mail: info@LA-Inter.org, HP: www.LA-INTER.org



「LA インター」の紹介です。ロサンゼルス地区で、日本人の児童生徒の指導に、30年にわたり携わってこられた鈴木先生の情熱と信念で運営されている、非常にユニークな学校です。

似たような学校すらない、そのユニークさゆえに、その良さを理解される機会が少ないのが残念です。鈴木先生はじめ、他の教職員の皆さんに積極的にご紹介いただいて、海外の高校生のチョイスになって欲しいと願います。皆さん、がんばってください。